

新しい作用機構

- 新規有効成分「フルキサメタミド」は、これまでにない新しい作用機構によって害虫を駆除します。
→ 今までの殺虫剤が効きにくくなった虫^{*}にも優れた効果を発揮します。

長く効く

- 長期残効性に優れ、約4週間以上害虫の加害を防ぎます。
- 耐雨性にも優れ、散布後に雨が降っても効果が落ちづらい薬剤です。

大きな虫^{*}にも効く

- 齢期の進んだ虫にも安定した高い効果を示します。
→ 大きくなった虫^{*}にも高い効果が期待できます。

その他の特長

- 「経口活性」と「経皮活性」を併せ持っています。
→ 「散布液が掛かった葉を摂食した場合」も「散布液がかかった場合」も効果を示します。
- 浸透性
→ 葉の表に散布液がかかるだけで、葉裏にいる害虫にも効果があらわれます。

※登録票の適用害虫をご覧ください。

【イザナミフロアブルの適用病害虫の範囲及び使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサメタミドを含む農薬の総使用回数
芝	スジキリヨトウ シバツトガ タマナヤガ	1000倍	0.1L/m ²	発生初期	3回以内	散布	3回以内
		2000倍	0.2L/m ²				
	コガネムシ類幼虫 シバオサゾウムシ	1000倍	0.2L/m ²				
		2000倍	0.5L/m ²				
樹木類	ケムシ類	2000～4000倍	200～700L/10a				

⚠ 使用上の注意事項 (抜粋)

- 使用前によく振ってから使用する。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 本剤の使用にあたっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 街路、公園等を使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

大きくなった虫^{※1}にもアプローチ!

殺虫剤 フルキサメタミド水和剤

イザナミ[®]
フロアブル



- 〈農林水産省登録 第24311号〉
- 有効成分:フルキサメタミド 10.0% ● 人畜毒性:普通物^{※2} ● 殺虫剤分類:30^{※3}
 - 荷姿:500ml×4 ● 性状:類白色水和性粘稠懸濁液体
- ※1 登録票の適用害虫をご覧ください。
※2 毒劇物に該当しないものを指して言う通称
※3 IRACの分類上、新設された「グループ30」に属する初めての化合物です。

日産化学株式会社

新たなチカラで、
芝の美しさ長続き

新しい作用機構

長く効く

大きな虫にも^{*}

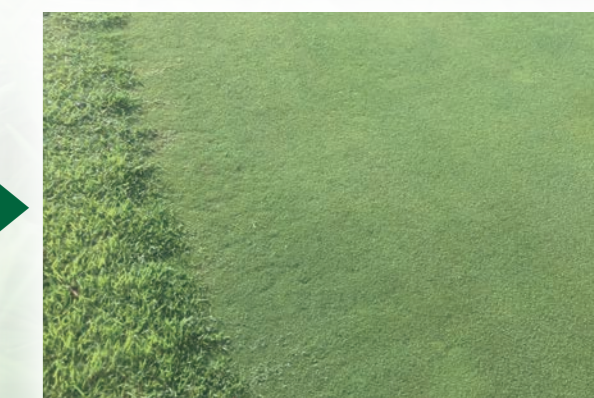
これまでにない新しい作用機構により、強くなった虫にアプローチするイザナミ。
大きな虫にも働きかける高活性とチカラが長続きする長期残効性・耐雨性で、
効率よく芝の美しさをキープし、省力化に導きます。

Before (散布前)



(シバツトガによる被害)

After (散布21日後)



※登録票の適用害虫をご覧ください。

日産化学株式会社
東京都中央区日本橋二丁目5番1号
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
お客様窓口 TEL03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

新規有効成分「フルキサメタミド*」について

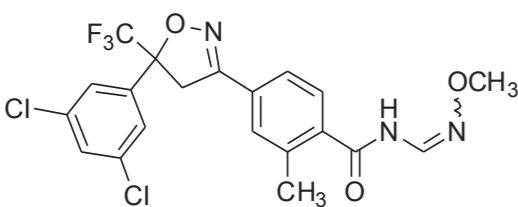
*フルキサメタミドは、イソオキサゾリン系の新規化合物です。

一般名: フルキサメタミド (ISO Common name: fluxametamid)

分子式: C₂₀H₁₆Cl₂F₃N₃O₃

化学名 (IUPAC): 4-[(5*RS*)-5-(3,5-dichlorophenyl)-4,5-dihydro-5-(trifluoromethyl)-1,2-oxazol-3-yl]-N-[(*EZ*)-(methoxyimino)methyl]-*o*-toluamide

化学構造式



【イザナミフロアブルの安全性】

人畜への安全性: 普通物
(毒劇物に該当しないものを指して言う通称)

- 急性経口毒性: LD₅₀雌>2,000mg/kg
- 急性経皮毒性: LD₅₀雌雄>2,000mg/kg

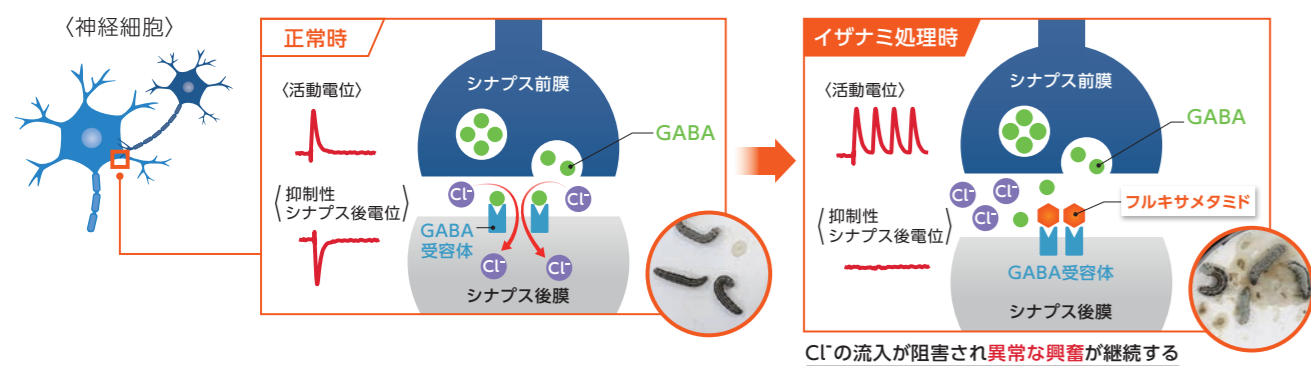
環境に対する安全性

- コイ: LC₅₀>1,000mg/L
- オオミジンコ: EC₅₀=84mg/L
- 緑藻: ErC₅₀=342mg/L

新規作用性

有効成分「フルキサメタミド」を配合し、
今までの殺虫成分にはない新しい作用によって害虫を駆除します。

IRAC番号「30」: GABA作動性Cl⁻イオンチャネルアロステリックモジュレーター



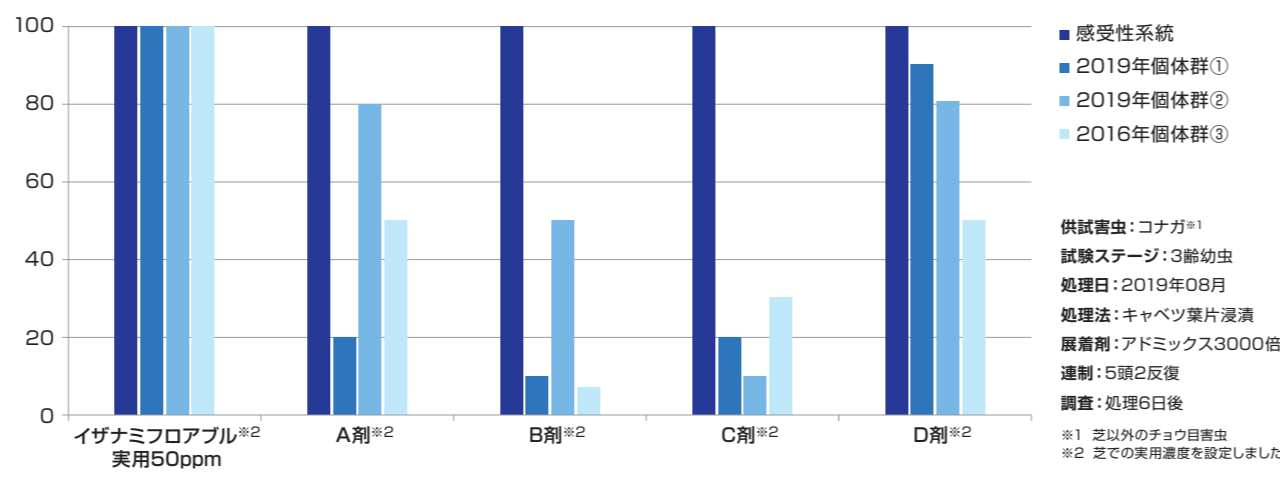
GABAは抑制性の神経伝達物質で、GABA受容体に結びつくことで興奮を鎮める働きをします。
フルキサメタミドは対象害虫のGABA受容体に結合しCl⁻の流入を阻害、その結果、害虫が持続的な興奮症状を起こし、死に至ります。

抵抗性の害虫に対する効果

イザナミフロアブルの野外抵抗性害虫への効果を確認しました。

野外系統に対する効果 (コナガ^{※1}) 2019年産化学生物科学研究所

キャベツ葉片浸漬法によるコナガ3齢幼虫の死亡率 [%] (処理6日後)



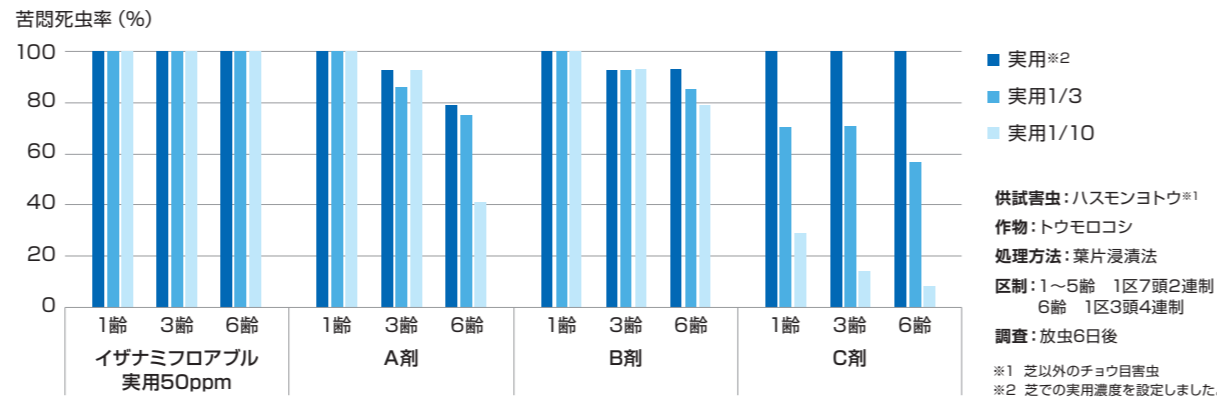
➡イザナミフロアブルは、これまでの殺虫剤が効きにくくなった虫にも優れた効果を発揮することが示されました。

大きくなった虫への効果

チョウ目害虫へのイザナミフロアブルの齢期別の効果を見るために以下の試験を行いました。

齢期別基礎活性試験 (ハスモンヨトウ^{※1}) 2018年産化学生物科学研究所

トウモロコシ葉を所定濃度の薬液に浸漬し、それぞれの齢のハスモンヨトウを放虫。放虫6日後の苦悶死亡率を求めた。



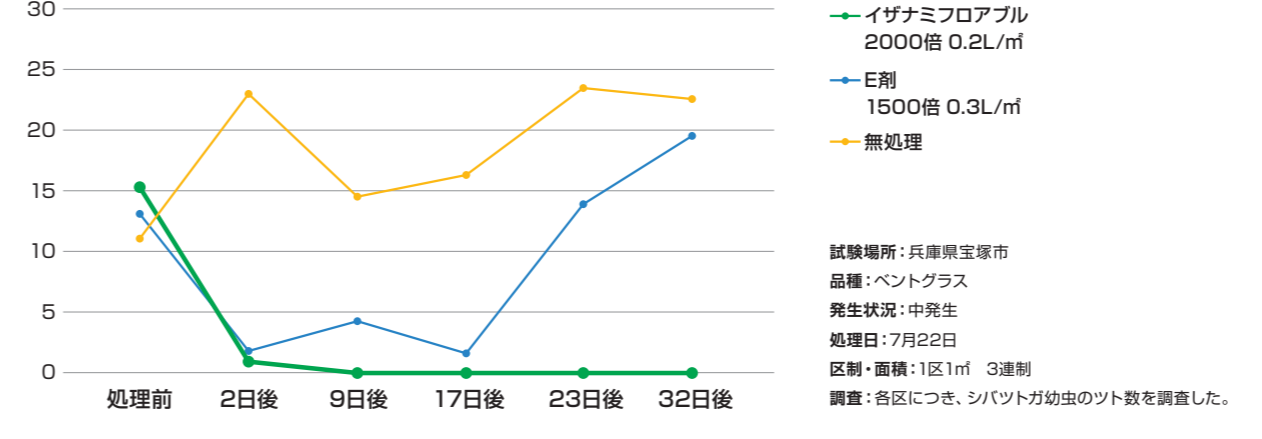
➡イザナミフロアブルは大きくなった虫 (チョウ目害虫) に安定した高い効果を示すことがわかりました。

殺虫効果の持続性

殺虫効果が長く続き、芝生をキレイに保ちます。

シバツタガ日植防委託試験結果 2017年(一財)関西グリーン研究所

ツタ数 (/m²)



イザナミフロアブルは他の圃場試験でもチョウ目害虫に対して30日以上効果が持続*することが確認されています。

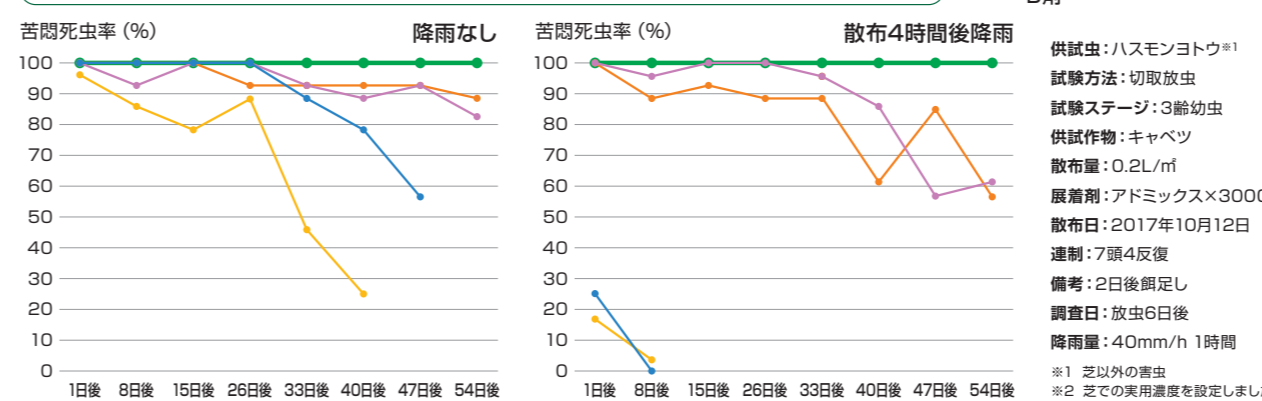
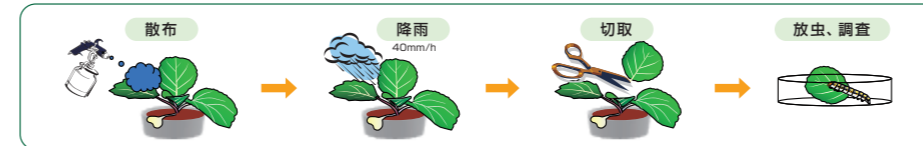
➡長期の残効性が期待できます。

*効果の持続性は散布条件や環境要因によって変動する場合があります。

耐雨残効性

イザナミフロアブルの散布後の雨の影響を見る為に以下の試験を行いました。

耐雨残効性試験 (ハスモンヨトウ^{※1}) 2017年産化学生物科学研究所



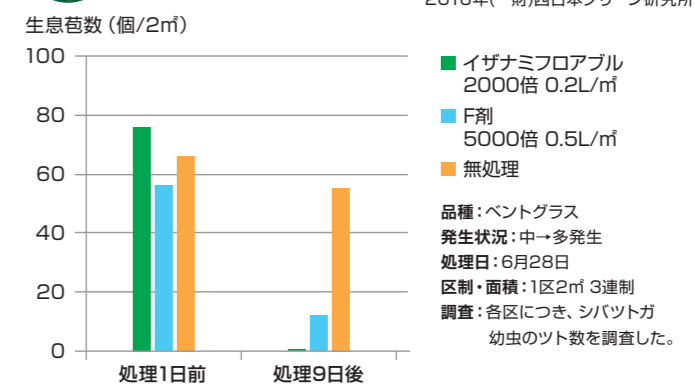
➡イザナミフロアブルは、雨に強く、散布後に雨が降っても効果が落ちにくいことが示されました。

(上記の試験は降雨の影響を見るための温室モデル試験です。実際の野外残効性を保証するものではありません。)

【日植防委託試験結果】

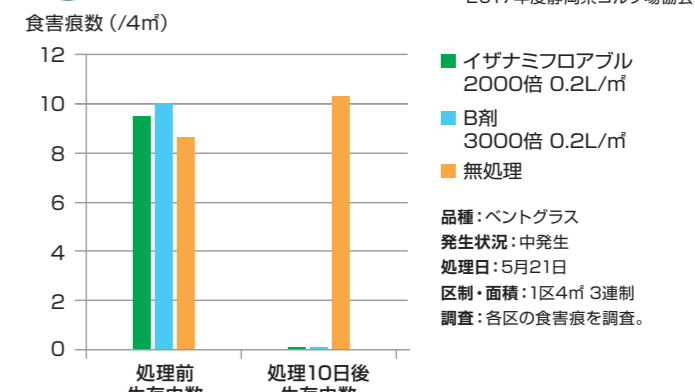
シバツタガ

2016年(一財)西日本グリーン研究所



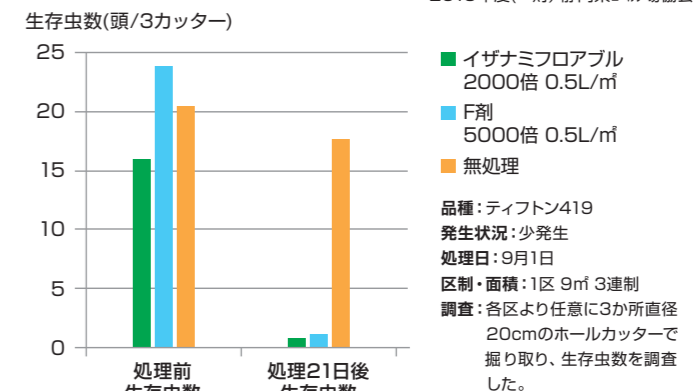
タマナヤガ

2018年度静岡県ゴルフ場協会



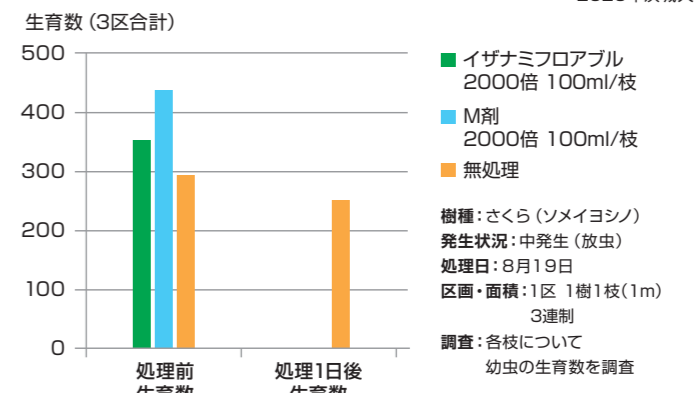
シバオサゾウムシ (幼虫)

2019年度(一財)静岡県J17場協会



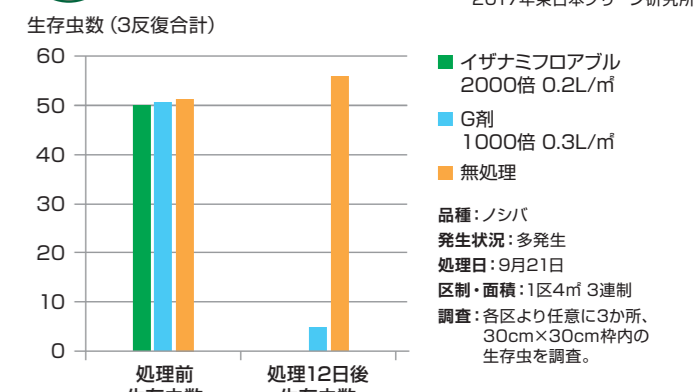
ケムシ類 (モンクロシャチホコ)

2020年茨城大



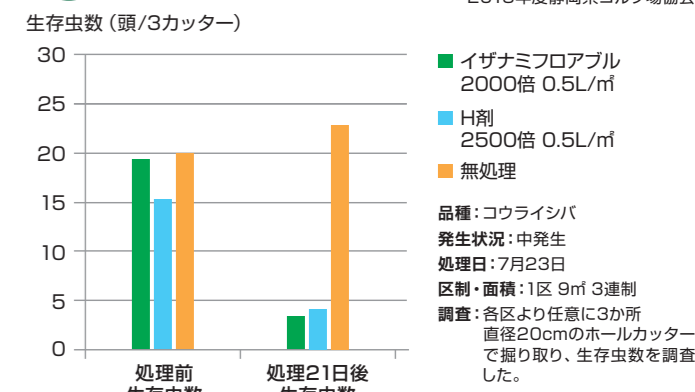
スジキリヨトウ

2017年東日本グリーン研究所



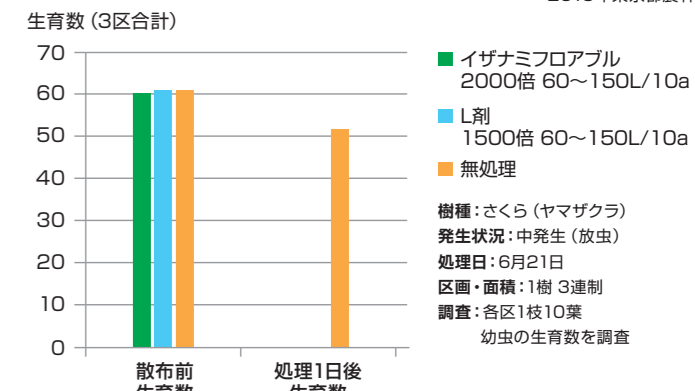
コガネムシ類幼虫 (セマダラコガネ)

2018年度静岡県ゴルフ場協会



ケムシ類 (アメリカシロヒトリ)

2019年東京都農林



ケムシ類 (チャドクガ)

2019年茨城大

